

## 介護予防事業ワーキンググループ開催概要

開催日時	令和3年9月7日（火）18時から20時
開催方法	オンライン（Zoom）
出席者	関係団体（理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、栄養士会、歯科衛生士会） 5名 市町村 2名 地域包括支援センター（委託） 1名 学識経験者 2名 計10名
【会議の概要】	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 部会長、副部会長の選任について</b></p> <p>○ 田中部会長、清水副部会長を選任した。</p> <p><b>3 討議事項</b></p> <p><b>(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について</b></p> <p>令和2年4月から、一部の市町村で、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取り組みが始まった。</p> <p><b>ア 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施における通いの場への伴走支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 「通いの場」をはじめとしたポピュレーションアプローチのあり方や、高齢者の生活機能の改善と疾病予防・重症化予防に向けた効果的な取組等について、市町村にアドバイザーを派遣し、個別の課題やニーズに対応した支援を行う。加えて、県の市町村支援について助言を受ける。</li> <li>・対象市町（公募） 秦野市 厚木市 海老名市 寒川町</li> <li>・アドバイザー 田中 和美氏（神奈川県立保健福祉大学栄養学科教授）</li> <li>・概要：通いの場がコロナ禍により運営していない等あり、ポピュレーションアプローチの取組には苦労が多いが、市町の資源や特性に合わせて、高齢者の質問票のデータ分析や包括や生活支援Coを視野に取組が進められるよう市町村の課題に合わせた支援を行っている。</li> </ul> <p><b>イ 在宅医療トレーニングセンター研修における「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」研修</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 「通いの場」における医療専門職の資質の向上について講演及び活動事例発表とパネルディスカッション（別紙チラシ参照）</li> <li>・オンライン開催</li> </ul> <p><b>○いただいた意見</b></p> <p>伴走支援事業では、通いの場に専門職が介入したことによる課題や問題提起ができるような結果がでるとよい、在宅医療トレーニングセンター研修では、活動事例や課題等がわかると今後の取組推進につながるといった御意見をいただきました。</p> <p><b>(2) 市町村介護予防事業支援のための人材育成事業について</b></p>

・平成26年度より実施していた「かながわ介護予防健康づくり運動指導員」の養成研修について、部会及びワーキングであり方について検討した。

・高齢者の社会参加・支え合いの体制づくり、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施の従事者等、近年の市町村介護予防事業に対応した人材を養成する必要があるという議論の結果をふまえて、今年度から新しい研修体系となった。

・初級編、中級編は県主催で実施し、上級編については各職能団体で実施

#### ○いただいた意見等

初級～上級の研修の内容や対象者について、初級編は、通いの場を中心とした基本的な市町村介護予防事業の考え方を学んでいく機会、中級は一体的実施の内容について深めていく、上級編は各職能団体で専門的な内容について研修するなど、職能団体の役割と合わせて内容を委員の間で共有しました。また、受講者の活用について、名簿や市町村とのマッチングが必要とのご意見もいただきました。

#### 4 報告事項

(1) 地域包括ケア推進事業における専門職派遣状況

(2) 介護予防のための地域ケア個別会議

(3) 地域ケア会議実施状況

#### ○全体を通していただいた意見等

専門職のアウトカム評価について、支援内容に適合した何らかの指標を使っていくよう、専門職向けの研修等で盛り込んでいく、基本チェックリストの活用なども含めて周知していく。

コロナ禍での通いの場の開催状況について、発生状況や地域性もあるが、再開しているところと開催に慎重なところと2分化してきている状況がある、また自粛により会を解散したが専門職の介入によりもう一度立ち上げが出来た、専門職が関わることで活動の継続や新規開設につながっているという報告があった。

## 介護予防事業ワーキンググループ 委員名簿

### 【ワーキンググループ】

NO	分野	所属	職名	委員名
1	医療関係団体	公益社団法人神奈川県理学療法士会	職能局 局長	久保木 あずみ
2		一般社団法人神奈川県作業療法士会	理事	木村 修介
3		神奈川県言語聴覚士会	理事	船橋 庄司
4		公益社団法人神奈川県栄養士会	副会長	竹田 すずよ
5		特定非営利活動法人 神奈川県歯科衛生士会	介護予防事業 担当理事	添田 静香
6	市町村	横浜市健康福祉局高齢健康福祉部 地域包括ケア推進課	介護予防 担当係長	清水 智子
7		逗子市福祉部社会福祉課	地域共生係 係長	大坂 慎介
8		鶴巻地域高齢者支援センター	管理者	佐藤 雅美
9	学識経験者	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科	教授	田中 和美
10		北里大学医学衛生学部 リハビリテーション学科	准教授	上出 直人

## 在宅医療トレーニングセンター研修における 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」研修について

### 1 実施目的

市町村が取り組む「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」において、「通いの場」等における医療専門職の積極的な関与が必要となることから、医療専門職を対象に事業の概要や「通いの場」等での医療専門職の役割について学ぶことで、資質の向上を図る。

#### 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」

高齢者の通いの場を中心とした介護予防・フレイル対策や生活習慣病等の疾病予防・重症化予防、就労・社会参加支援を一体的に実施する仕組み（令和2年4月1日「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」により、県内の一部の市町村で令和2年4月から実施。）

#### 「通いの場」

高齢者が身近な場所で定期的集まり、体操や趣味活動等を行うことで介護予防活動や地域づくりにつながる取組

### 2 対象

- ・専門職（保健師、管理栄養士、歯科衛生士、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）
- ・市町村の高齢者保健事業、介護予防事業担当者
- ・保健福祉事務所、センター職員、通いの場の運営者
- ・その他、医療・介護・福祉に携わる方  
(一体的実施における専門職の担当業務)
  - ・事業の企画・調整等を担当：保健師、特定保健指導の企画立案、調整等に経験のある医師、管理栄養士
  - ・地域を担当：保健師、管理栄養士、歯科衛生士、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

### 3 実施日時

令和3年10月15日（金）

10時～受付

10時30分～12時 講演（90分）

12時から13時まで 休憩

13時から15時30分まで パネルディスカッション・質疑

### 4 場所・実施方法

神奈川県総合医療会館（横浜市中区富士見町3-1）

### 5 研修内容（案）

テーマ（仮） 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の意義  
～地域の「通いの場」における専門職の活躍～

- (1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施のねらい、事業概要と「通いの場」における医療専門職の活動について、国の動向についての講演（2時間程度）  
※講師 神奈川県立保健福祉大学 田中和美 教授（予定）
- (2) 活動事例の発表（パネルディスカッション方式、2時間程度＋質疑）  
県の「住民主体の通いの場への専門職派遣モデル事業」（令和元年度又は令和2年度）における「通いの場」での専門職（歯科衛生士など）の活動の実際  
※講師（案）県モデル事業「住民主体の通いの場への専門職派遣モデル事業」で派遣された専門職（理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士）及び市町職員及び、令和3年度 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施にかかる通いの場への伴走支援事業対象市町の担当者（事務職又は保健師）